

こんにちは森林官です!



留萌南部森林管理署
達布森林事務所
首席森林官 石原 雅博



左側が筆者

○森林事務所の概要

達布森林事務所は、北海道のほぼ北西に位置する小平町市街地から山側に20キロメートル入った所にあります。管理面積は約3.4万ヘクタール、白亜紀の地層が広範囲に分布し、化石の宝庫として知られ、毎年、多くの研究者が入林しています。

○炭鉱と林業で栄えた街

管内の達布地域は炭鉱と林業で栄えた街で、最盛期には、炭鉱会社が18社もあったそうです。石油が使われるようになってからは、炭鉱は閉山され、林業と農業の街に変化しました。



露天掘りによる石炭の掘り出し

地域内の炭鉱については、石炭の見直しが行われた昭和58年頃から国有林内で露天掘りによる石炭の掘り出しが行われています。

ここで掘り出された石炭は、火力発電に使用されていますが、北海道胆振東部地震で起きたブラックアウトの影響で大変忙しかったそうです。

現在、人口約80名、公的機関は小平町役場達布支所、郵便局、そして達布森林事務所です。達布にとって、かなり重要な存在になっています。

○管内の観光

管内には、おびらしべ湖と小平ダムがあります。



おびらしべ湖

毎年7月には、湖水まつりが開催され、たくさんの観光客で賑わっています。

湖にかかる滝見大橋は、湖上橋として全道一の長さを誇ります。



小平ダム



滝見大橋

○森林事務所の仕事

境界の管理、収穫調査、請負造林の監督、請負生産の監督、林道の管理及び修理等の監督などがあり、かなり充実した日々を過ごしています。

9月から12月末までの予定で、現在、2箇所です。

○大切なと思うこと

産事業が実行されていますが、請負事業体の重大災害が多発しているため、安全指導については、特に力を入れています。

達布の国有林は農地と接している場所が多く存在し、過去にトラブルが色々と起きたそうです。

そのことを聞いていたもので、常日頃から達布支所長と情報を交換したり、関係機関とも意思疎通したり、農家の方への挨拶などを積極的におこなってきました。

7月の大雨で、達布は森林や農地に大きな被害が発生し、色々と問題が起きましたが、そうした行動のおかげで、トラブルになるまで発展することはありませんでした。

国民みんなの森林を守り、育てていくことも重要な仕事ですが、内部にはかき目を向けるのではなく、外部にも目を向け、森林官として色々な人と顔をつないでおくことも大切な仕事だと思います。